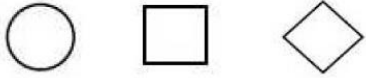
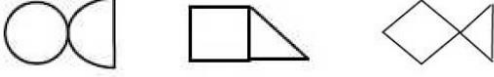
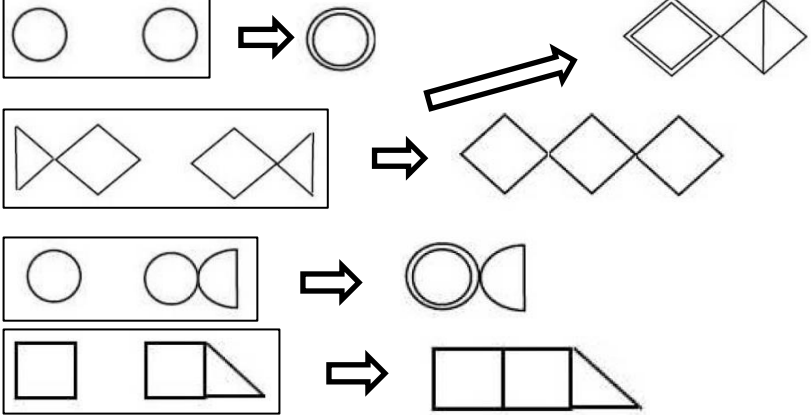


小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
 未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	算数科 「偶数と奇数の意味と、その性質を調べよう」
学年	小学校第5学年
目標	整数の性質を調べることを通して、偶数と奇数の意味を理解することができる。
教材タイプ	ビジュアルプログラミングソフト
使用教材	viscuit
環境	児童1人で1台の端末を使用
都道府県	徳島県
実施校	徳島市南井上小学校
学習活動の概要・ 児童の様子（プロ グラミングの活動 を中心に記載くだ さい。）	<p>学習課題「偶数や奇数を組み合わせてできた『和』の性質について調べよう」</p> <p>◎2数が結びつく様子や、結合してできた新しい整数の様子を具体的に表せるように、プログラミングソフトを用いて部品の「組み立て方」を話し合う。</p> <p>① 偶数・奇数をそれぞれ表すことができるように、部品づくりをする。</p> <p>【偶数を表す図形】の例</p>  <p>【奇数を表す図形】の例</p>  <p>② 2つの整数が合わさってできる「新たな整数」の形態をイメージして、プログラミングを進めていく。</p>  <p>③ 2数の和が、偶数になる場合と奇数になる場合について、それぞれ考察する。 ○片方だけが「奇数」（2でわると1余る数）の場合に、和が奇数になる事と、それ以外の場合に和が偶数になることを、再確認しておさえる。</p>
成果と課題	整数の性質をもとに仲間分けする活動を、視覚的に支援する効果があったため、理解が深まった。一方、相互に学び合う場のペア活動等が、制限される環境が続いている。